





今年の山小屋 W は、一回生の時の新歓合宿を思い起こさせるほどの暴風雨で、去年の自分と今の自分を比べることが出来て、とても感慨深い合宿でした。一年前は初めての本格的な登山で、軽い荷物でもバテバテで、何もわからずただ先輩についていだけでしたが、今回はそんなこともなく、自分が成長したんだと確認できる合宿になりました。

(54期 工2 岡嶋真吾)

今年の山小屋Wのルートは、坊村～武奈ヶ岳～暮雪～八雲～比良駅といういつもと変わらないコース・・・ すっきりした秋山を楽しもうと思ったが一日目は雨・・・(2日目は少し晴れたかな？さすが体育の日。) というわけであまり印象に残ってないです。すみません。ただ、55期角野の動きがかわいかったです。キュンとしました。あと OB さんも多く参加してくれてよかったです。来年はそっち側になるのが想像できません。

(53期 工3 篠崎拓也)

2010/11/2～8 秋合宿 ～えっ、山に行く1回生って俺だけ？～

今年もまちかね祭の期間を利用して秋合宿に行ってきました。今年は山(九重・阿蘇)、山陰チャリ、うどんチャリ(香川から愛媛)、山口W(ロード)の4つが出ました。

山 party はくじゅう登山口から大船山に登り法華院温泉でサイトし、二日目は久住山、中岳に登り仙酔狭でサイト、三日目は高岳に登りました。山陰チャリ party は鳥取駅から鳥取砂丘、白兔海岸、出雲大社、境港を通り、稲佐の浜海水浴場まで行きました。そしてうどんチャリ party は神戸からフェリーで高松に行き、途中屋島や金刀比羅宮などの観光地によりながら、新居浜まで行きました。

一回生ではチャリが非常に人気で、逆に山は一人だけという偏った party でしたが(そういう僕もうどんチャリです) 各 party ともに天候に恵まれ、非常に有意義な経験ができました。

(文責：笹原)

=====



#### ・チャリ party 山陰

山陰チャリは鳥取、島根を横断しました。初めてのチャリ合宿でしたが、天候にも恵まれ、とても楽しかったです。最終日の朝に日の出を見ながら走ったのはこれぞ想像してたチャリ合宿って感じで気持ち良かったです。個人的には、最終日の出雲大社が良かったです。チャリ合宿はボッカを背負わなくていいから楽だろうと思ってましたが、結構きつかったです。打ち上げの焼肉屋さんには高級すぎてちょっと恐れ多かったです。輸行さえなければ、最高なんですけど…(笑)

(55期 法1 上村優貴)

#### ・チャリ party うどん

今回の合宿の趣旨がまず第一にうどんを食べることだったので、基本的にそのことばかり考えていました。どのうどんが一番おいしいのか、お店の雰囲気はどうであるのか、お店によって何が違うのか。結局のところ、うどんを食べすぎると前後不覚に陥ってしまうので最後まで良くわかりませんでした。関係ないのですが、屋島山頂から見える高松市の風景は見る価値があったともいます。瀬戸内海はやはりきれいですね。

(53期 法3 藤村治輝)

#### ・山 party 阿蘇九重

三次予備、夏合宿でアルプスの高山を楽しむことができ、次は火山に行きたいと思っていたので秋合宿は希望通りの企画となり本当に良かったです。秋の九州は思っていたより寒く九重では霜柱を踏みながら歩きました。硫黄山や阿蘇山などの噴火口から煙が出る様子は“大地の力”を感じることができ感激しました。アフターの由布岳は山の形が鬼の頭のように面白かったです。山行後の温泉も火山地帯だけあってよかったです。

(55期 基1 瀧澤 洸)



・ロード party 山口

秋合宿、僕たちは山口の秋芳台や棚田、角島に行きました。中でも一番の名所はやはり秋芳洞でした。まず入って驚いたのはその大きさです。トンネルくらいの大きさを想像していたのですが、実際はその何倍もありました。そして進んでいくと百枚皿なる、石でできた皿が何十、何百も連なるものや、鍾乳石、石筍などが見えてきました。それらの石灰岩地形は見ていて面白かったです。特に天井からつららのように伸びる鍾乳石は、長い年月を感じさせ、また洞窟というロマンを一層引き立てるもので良かったです。そして僕が一番感動したのは黄金柱というこがね色の石柱で、これは凄く美しかったです。

合宿全体としては、今までの山とは違いのんびりしたもので、また違った楽しさがありました。余談ですが、アフターで先輩方はヒッチハイクで移動したそうです。格好いい。

(55期 理1 市川智輝)

11/27~28

L養I ~この腐りきったワンゲルを変えなければ~

今年のL養は六甲山に行ってきました。一回生は技術、体力の向上が目的で、読図をしながらPartyのペースを考えたりと、精神的にも体力的にも大変な合宿でした。下級生を意識した合宿は初めてで、今まで上回生はたくさんの仕事をしていたということが分かりました。この合宿で上回生としての意識が少し持てるようになったと思います。

(文責 大江)

○L養I

今回のL養Iでは六甲山に行きました。次期2回生になるにあたっての技術向上を目的とした今合宿にはかなり緊張して臨みましたが、紅葉した秋山や、摩耶山の菊星台からの眺めはよく、予想外に山を楽しむことができました。一方今合宿を通して読図や各役割についてはまだまだ未熟な部分があることがわかり、来年一回生に教える立場になる者としては一層努力が必要だと感じました。

(55期 工1 矢達高大)



次期 2 回生として体力、技術、意識の向上を目的とした今回の合宿において、毎回山行が始まってすぐにばててしまう僕は、現段階での自分の体力をしっかり把握することを一つの目標として今合宿に臨みました。初日はボッカ 28 kg でスタートし、すぐに太ももやふくらはぎが痛くなり、足が重くなりました。2 日目は予定より大幅にボッカを減らしてもらい 20 kg でスタートし、この重さだとあまりつらい状況にならずに歩けました。両日とも息がきれているということはなかったので、僕に足りていないのは体力より、筋力だろうという考えになり、これからスクワットをするなど、足の筋力を鍛える筋トレをしていこうという思いで合宿を終えました。

(55 期 基 1 多田昌洋)

本合宿から真剣に読図をしながらの山行ということとなり、また体力・技術の向上とともに次期 2 回生としての意識を持つことが求められました。ボッカのわりに山道そのものは楽なものでしたが、それまでのようにただ登るだけではないことで精神的にかなりまいりました。特に C.L. をしつつ読図もすることは二回生ならば出来て当然だと思っていきましたが、それが予想以上にきついということを実感しました。また、係の仕事でも焦ってしまうことが多々ありまだまだ努力せねばならないことが多いと思いました。

(55 期 工 1 山田将人)

L 養 I では P.L. を務めさせていただきました。初めて Leader 業務をして分かったことは、先輩方がいつも私たちメンバーを見ていてくださったこと、そして常に party を管理し、合宿を安全に行えるように配慮してくださっていたということです。この L 養を通し Leader が負う「責任」というものについて改めて意識しました。得るものが多く、とても充実した合宿だったと思います。

余談ですが、六甲では紅葉がちょうど見頃でした。猪に遭遇しなくて本当に良かった。

(54 期 法 2 倉石彩子)

---

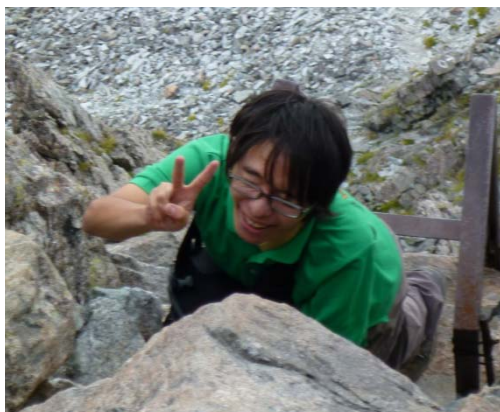
## 部員紹介

### ～★54期次期リーダーズ★～

---

今月号から 54 期次期リーダーズの紹介をします。54 期もなかなかキャラの濃い人が勢ぞろいです。今回は 3 人紹介します。





#### ・坊ヶ内渉

次期主将の坊ヶ内さんはイオンでバイトをしており、ライトミール、粉ジュースは彼に頼めば大丈夫！！ちょこちょこイオンの宣伝もします。数少ない豊中生で部室にもよくいます。そんな坊ヶ内さんですが、中学の時からワングルに所属していて、天気図の腕前は放送時間内に書き終えてしまうほど。今年の夏は一人で富士山に登られたそうです。山を愛するととても頼りになる先輩です。

#### ・金里征治

同回生などからはアンパンマンなどと呼ばれている金里さん。彼の笑顔を見ればどんな嫌なことも忘れてしまう、癒し系キャラです。ただ、真面目な顔をするとそのギャップで怖いという声も…。下宿生ですが、かなりいい家に住んでおられるようで、お坊ちゃまキャラでもあります。山行中はiPhoneも使いこなします。二次予備の下りでは、コースリレーで暴走するということもありましたが、普段はとても優しい先輩です。



#### ・馬庭泰介

山行中は必ず頭にタオルを巻く、それが馬庭さんスタイルです。馬庭さんは見た目通りかなり不思議な人です。新歓合宿の自己紹介の時には、ワングルをやってよかったことというお題に反して、なぜか家庭教師のバイトの愚痴を話し、爆笑の渦が起きました。話し方が独特で話をするとなぜか笑いが起きる、それよりも存在そのものが面白い？そんな馬庭さんととても素敵です。

---

メルマガ 12 月号いかがでしたか？まだまだ伝えきれない思い出がたくさんありますが、現役の活動を少しでも知っていただけたらなと思います。

さて、前回のメルマガアンケートは『思い出深い秋・春合宿』でしたが、沢山のご回答をいただき、こんな活動もしていたのかと楽しく読ませていただきました。一ヶ月泊り込みで農場体験したり、中国やニュージーランドに遠征に行ったり、無雪期に下見をしてから雪原歩きをしたり、やはりワンゲラーらしく山に登ったりと本当に幅広く、準備もしっかりと活動しておられてことが伝わってきました。四万十川にいかだ合宿に行き、高価な山道具を流されてしまった方もおられるようですが、今年行ったいかだ合宿でも色々なものを失ってきました（眼鏡とかデジカメとか…）。こんなことでも後に振り返ると思い出になるのではないかとアンケートを読んでいました。これからも OB、OG さん方の活動を参考にしていきたいので、今回のアンケートもどうぞよろしくをお願いします。

《 <http://www.ouvw.org/enquete/enqform1012.html> 》

渡り鳥通信、次号はクロカンレース、冬 PW、春合宿についてです。春合宿は 5 party でおおり、一回生にとっては初めての活動もたくさんあるのでボリュームある内容にできると思っています。ご期待ください。

ギャラリーページリンク

《 <http://www.ouvw.org/mailmagazine/gallery1012.html> 》